

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法に基づく原価法によっておこなっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業準備積立資産(特)	5,971,734	1,500,102	0	7,471,836
災害支援積立資産(特)	0	0	0	0
小計	5,971,734	1,500,102	0	7,471,836
合計	5,971,734	1,500,102	0	7,471,836

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
事業準備積立資産(特)	7,471,836	0	7,471,836	0
小計	7,471,836	0	7,471,836	0
合計	7,471,836	0	7,471,836	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	491,458	8,909	482,549
リース資産	217,728	163,296	54,432
ソフトウェア	540,000	288,000	252,000
合計	1,249,186	460,205	788,981